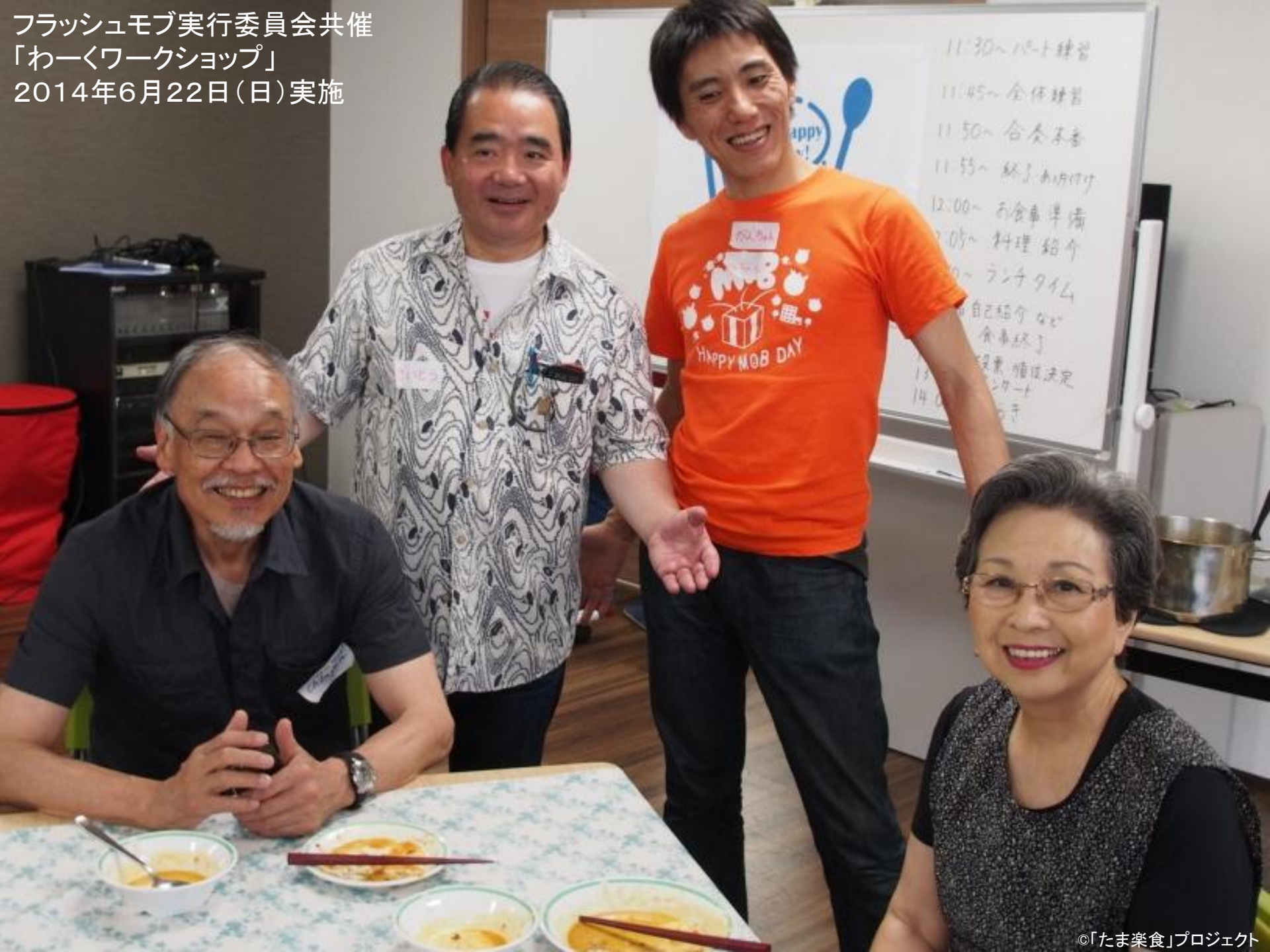


フラッシュモブ実行委員会共催  
「わーくワークショップ」  
2014年6月22日(日)実施



11:30~パート練習  
11:45~全体練習  
11:50~合奏本番  
11:55~終了挨拶  
12:00~お食事準備  
12:05~料理紹介  
12:10~ランチタイム  
12:15~自己紹介タイム  
12:20~お食事終了  
12:30~投票権決定  
14:00~お食事



# 現代・たまプラ版「御用聞き」 「御用が有れば、いつでも食のコンシェルジュ」

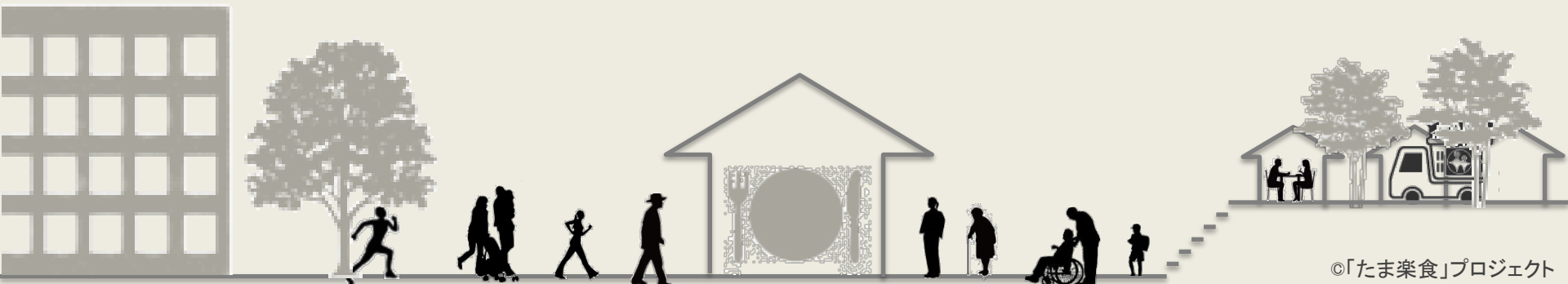


「たまプ**楽**食」プロジェクト



## I これまでの活動・成果

## II これからの活動



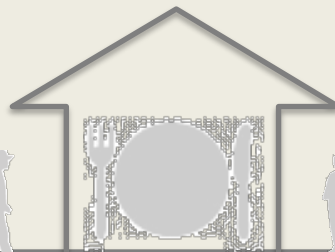
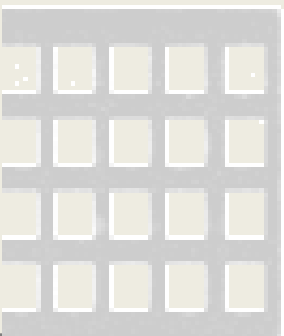


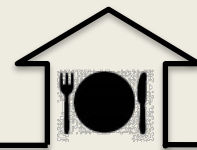
# 活動履歴



- ①立案と活動の土台作り(協力体制、コネクション)
- ②ヒアリング(現状分析とニーズ調査)
- ③実施計画立案
- ④インタビュー調査(実現性の検証)
- ⑤イベント開催(始動準備)
- ⑥御用聞きシステム開発開始

学びの活動支援部門

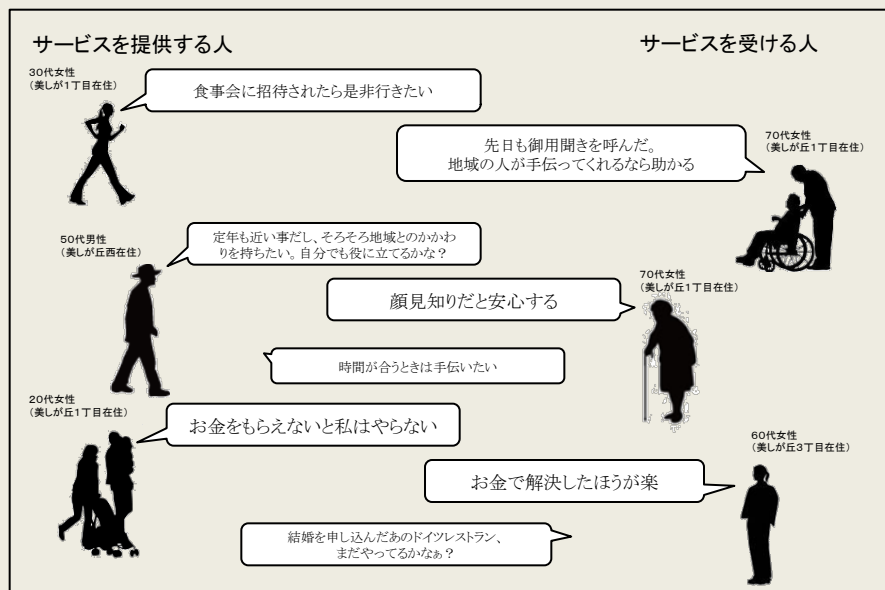




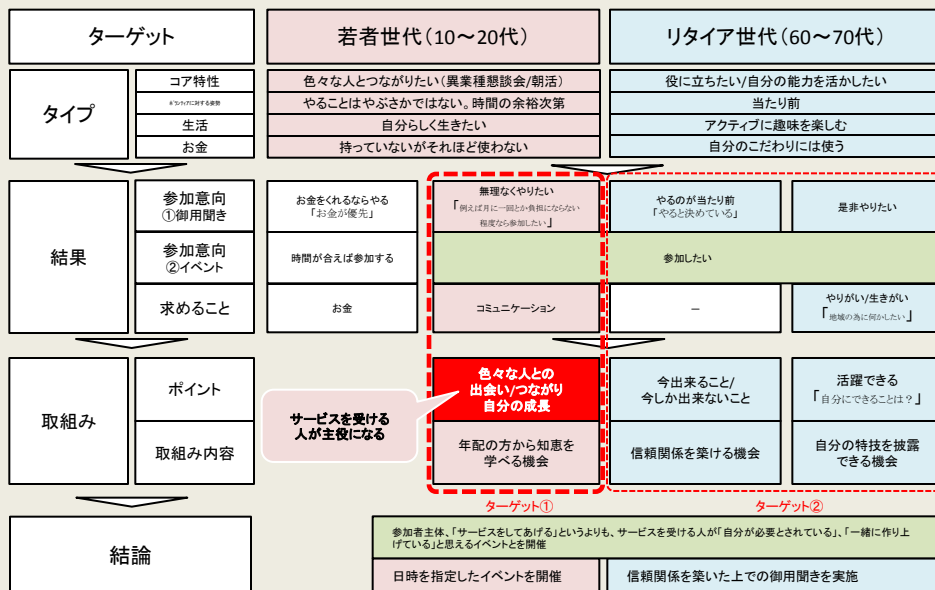
## 想い・・・地域の役に立ちたい、笑顔が見たい。

## やること・・・たまプラ版御用聞きの実施(食をテーマとした御用聞きから開始)

### ①ヒアリング(サービスの必要性を確認)



### ②インタビュー(サービス提供者のターゲット選定)

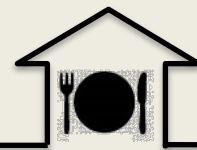


サービスを提供する人/サービスを受ける人共に利用者したい人はいる(したくない人もいる)

- 日付限定ならやりたい
- サービスを提供者のターゲットは
  - ・色々なつながりを求める若者
  - ・地域に貢献したいリタイア世代

・スモールスタートでの実施  
・イベント開催

# [活動] イベント実施



## □概要

- ・楽器作りワークショップと食事のイベント
- ・食事は「チーム東浦」、「チーム石塚グループ」、「チーム藤本」の男性チーム同士の料理対決
- ・みんなで食べることにより、多世代交流のニーズを掴む
- ・地域の素材を活用

## □結果

- ・子供からシニアまで多世代の方が参加し、「楽しかった」という意見多数。
- ・「食事(食べ物+コミュニケーション)が笑顔の素になることを確認。

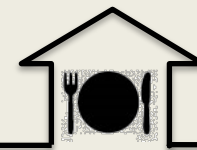
## □次の展開

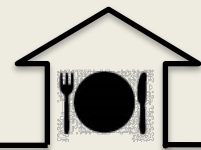
- ・御用聞きの中に「食」を織り込んだシステムの開発。
- ・多世代が交流できるマッチングシステムを目指す。





# (参考) イベントの様子



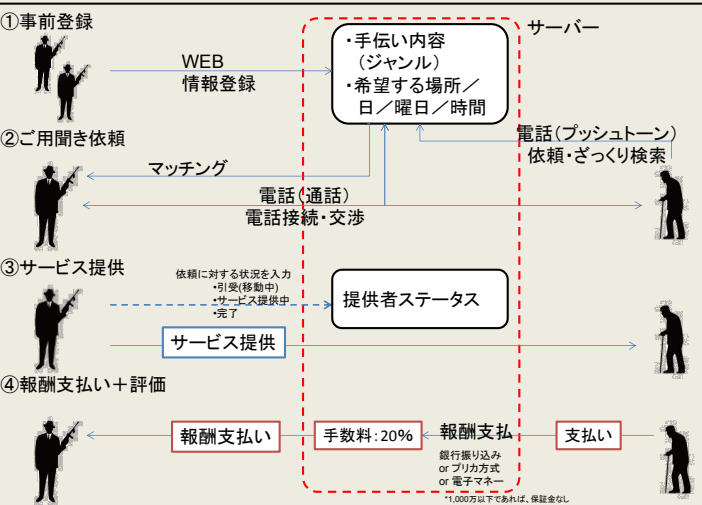


# システム開発

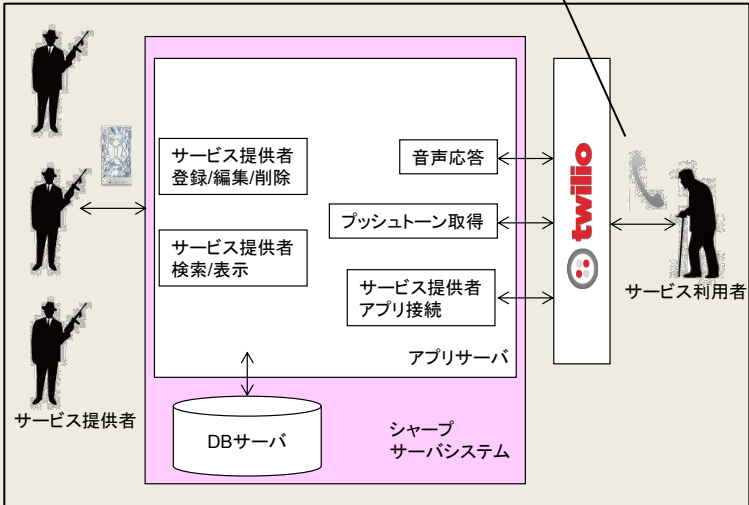
## ご用聞きマッチングシステムを開発中(→トライアルを実施)

電話で御用聞き依頼

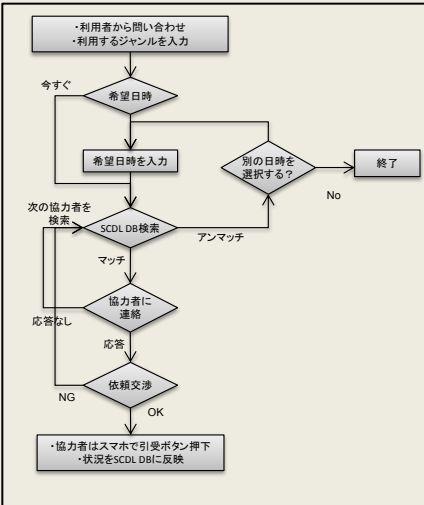
### 概要



### システム



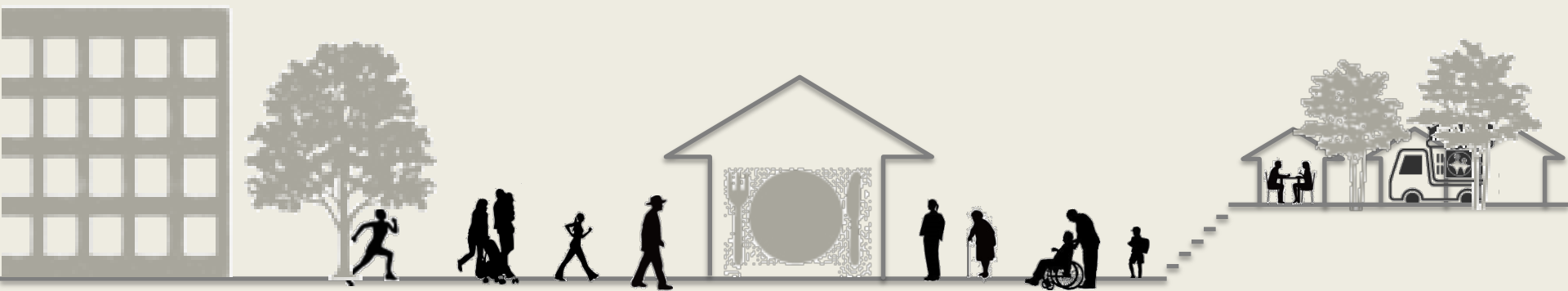
### フロー

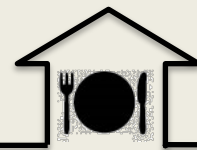


## 他グループとの打合せ内容を参考にトライアルでの仕様へ落とし込む (打合せ時の意見)

- ・自動化したシステムではなく、人が介在したほうがやりやすそう
- ・単なる御用聞きだけでなくスキルとニーズとのマッチングサービスまでを考えている
- ・地域住民によるポスティングサービスと連携した見守りサービスをしたらどうか

## Ⅱ これからの活動





□言っていることはずっと変わっていません。少しずつ進めています。

## 最終的に目指すところ



### ■1st STEP(導入)

「御用が有れば、いつでも食のコンシェルジュ」の実施・実現  
(スタートアップは「食」から)

住民創発プロジェクトの支援による実現

### ■2nd STEP(展開)

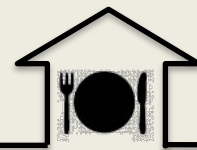
#### 横展開／他プロジェクトとの連携

- ・なんでも御用聞き
- ・たまプラの先生
- ・子育て支援
- ・使用済み油回収サービス
- ・青葉食堂
- ...

### ■3rd STEP(定着)

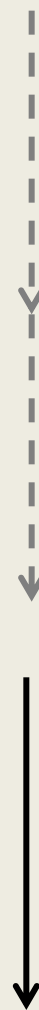
#### 全体的な地域住民活動として根付かせる

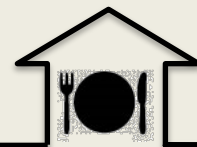
(主体は「たまプ楽食」プロジェクトでなくても良い。実現させ、根付かせることが最優先)



# 今後の活動

- ①活動の土台作り(協力体制、コネクション)
- ②ヒアリング(現状分析とニーズ調査)
- ③実施計画立案
- ④インタビュー調査(実現性の検証)
- ⑤イベント開催
- ⑥御用聞きシステム(プロトタイプ)開発開始
- ⑦ビジネスモデルの精査
- ⑧プロトタイプの運用
- ⑨地域全体としてのまちづくりトータル展開





「食の御用聞き」に継続性があるか？



たまプ楽食だけでは  
投資回収/システム維持  
が難しい  
(事業規模が小さい、利益につながりにくい)



地域まちづくり事業組織と事業内容について協議  
(自立可能な事業化を目指す)

まちづくりトータル展開案(検討中)  
A御用聞き、人材データベースの横展開  
B見守り支援、ポスティングとの連携  
Cノウハウを含めた地域外へ展開

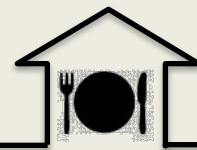
シャープの資産を有効活用

(見守りシステム等既存システムの活用による初期費用の最小化、ランニングでの収益化等)

運営コストを抑えたい

システム開発の  
初期費用投資を抑えたい

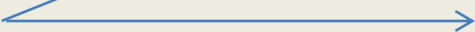
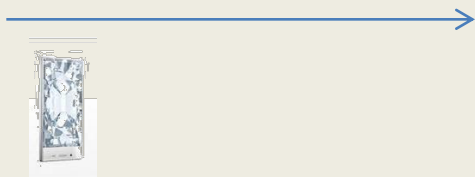
継続していくための  
適正な利益をあげたい



# プロトタイプの利用とトータル展開の具体案

## A、御用聞き、人材データベースの横展開

提供する人



データベース  
サーバー



御用聞き



- ・買い物
- ・定期的なゴミ捨て
- ・電球取り替え等から



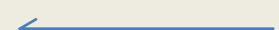
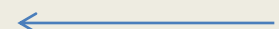
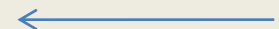
スキル

子育て支援

イベント

他の地域へ

提供される人



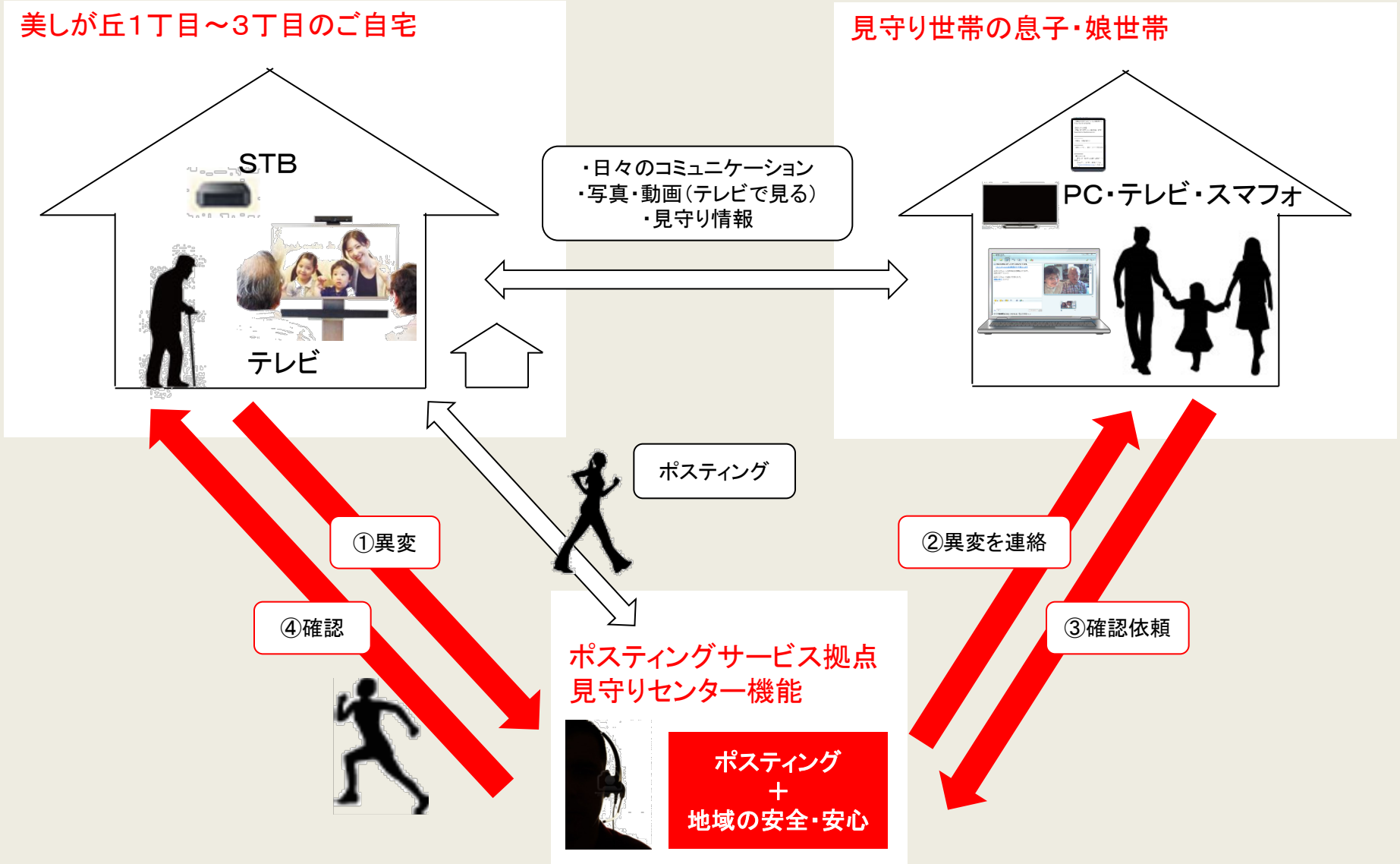


# トータル展開の具体案

## B、見守り支援、ポスティングとの連携

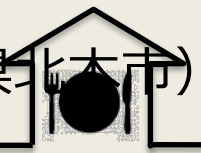
美しが丘1丁目～3丁目のご自宅

見守り世帯の息子・娘世帯





# 「テレビ見守りサービス」実証実験 事例 (埼玉県北本市)



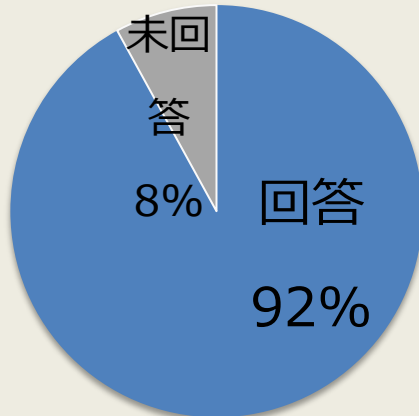
- 場所：埼玉県北本市 UR北本団地
  - 対象者：65歳以上の高齢者を対象に調査（平均年齢71歳）
  - 期間：2012年7月～9月末（終了済み）
  - 実験概要：
    - ・ テレビの電源を入れると自動的に見守りテレビ画面を表示
    - ・ 一日一回、健康状態をお伺いする体調アンケート画面を表示。
    - ・ 体調アンケート回答後は自治体情報画面を表示。
    - ・ ごみの日情報、自治会や市役所からのお知らせ天気予報を提供。
- ①安心感が高まった、と65%の方が回答。  
②サービス料を支払っても使いたい、と70%の方が回答。

## ■ 実証実験の結果

参加者にシステムは十分に活用されている



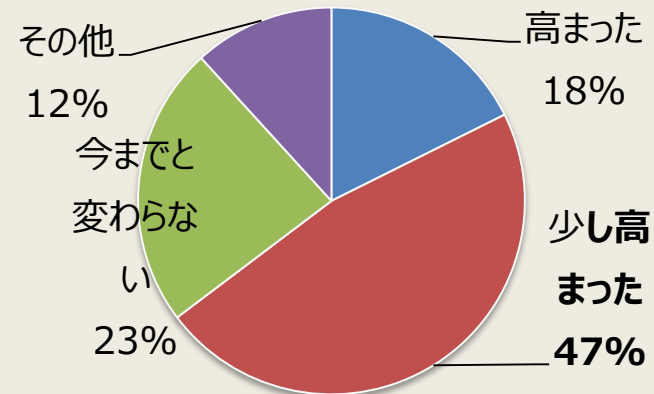
テレビによる「体調伺い」回答率

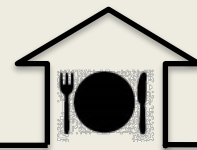


過半数の人に「安心感」を提供



＜参加者アンケート＞  
見守りテレビで安心感は高まりましたか

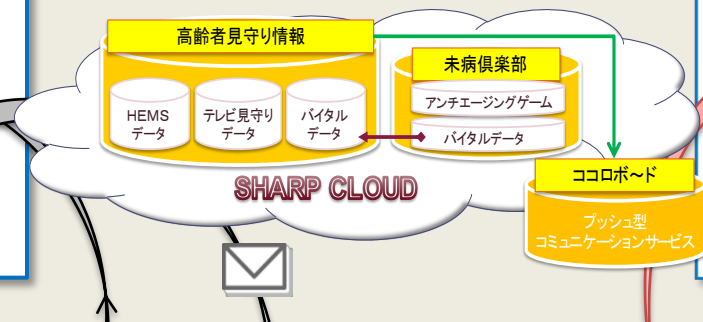




# 「テレビ見守りサービス」の特長・機能

## ■ テレビのOn/Off情報 & 体調アンケート

- ・ テレビリモコンで簡単操作



## ■ イベント案内の受信

お祭りや食事会等のイベント案内を配信して、高齢者の外出を促します。



## ■ 見守る側の見守り画面

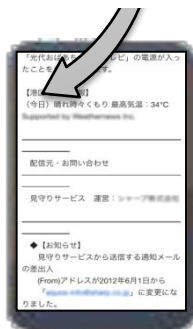
見守る側のPCで、テレビ使用状況や体調アンケート結果などを確認

ユーザー	テレビ使用状況			今日の体調アンケート結果
	今日	昨日	一昨日	
Aさん	○	○	○	ふつう
Bさん	-	-	-	未回答
Cさん	○	-	○	よい
Dさん	○	-	○	ふつう
Eさん	-	○	○	わるい

見守る側

## ■ ご家族へのメール送信

親のテレビ使用状況や体調アンケート結果を、離れて暮すご家族にメール送信



ご家族



## ■ コンテンツの作成・配信

- ・ イベント等のコンテンツを容易に作成
- ・ 体調アンケート、イベント案内を配信



見守る側



## 「地域課題対応型EMS※<sup>1</sup>サービス」の実証実験を開始

シャープは、高齢者の見守りサービスや健康管理と家庭向けエネルギー管理システム(HEMS※<sup>2</sup>)を組み合わせた「地域課題対応型EMSサービス」の実証実験を、2015年1月から神奈川県大井町にて開始※<sup>3</sup>します。

本実証実験では、神奈川県大井町にお住まいの高齢者世帯を対象に参加者を募集し、下記のサービスを提供します。

### 1. エネルギー管理サービス

参加者の宅内にあるテレビや自物家電をHEMSによってネットワーク化。各機器の利用状態や消費電力の情報を、ネットワークを介して当社が管理するクラウドサーバーで収集・蓄積します。これらの情報から日々の電力使用状況などをタブレット端末やスマートフォンで閲覧できるほか、電力の使用実績をもとにワンポイントアドバイスをを行い、節電意識の高揚を促します。

### 2. 地域課題に即した生活支援サービスなど

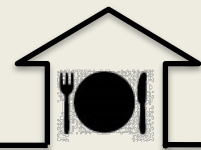
#### (1) 生活支援サービス

見守り機能に必要な専用機器をテレビに接続し、健康状態に関するアンケートを毎日実施。さらにHEMSを介した各機器の電力使用状況から得られる生活リズムの情報と合わせることで、精度の高い見守りを行います。

#### (2) 健康管理サービス

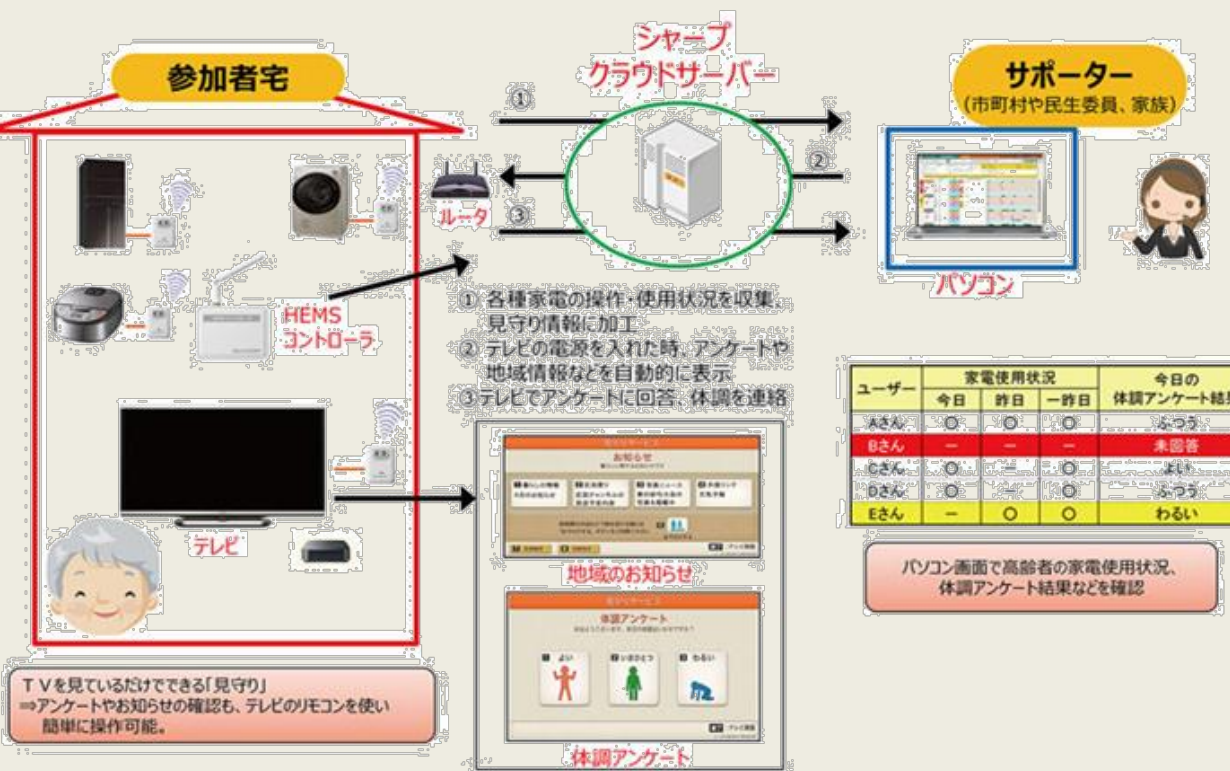
参加者はタブレット端末にプリインストールされているアプリケーションソフト「未病倶楽部」を使って、体温や血圧、服薬履歴などの情報を管理できるほか、アンチエイジングゲームや体操のメニューを利用することで、楽しみながら健康維持に取り組むことができます。

これらサービスを通じて当社が取りまとめた情報は、参加者のご家族や地域のサポーターが定期的にモニターし、きめ細かな見守りに役立てていただくことができます。

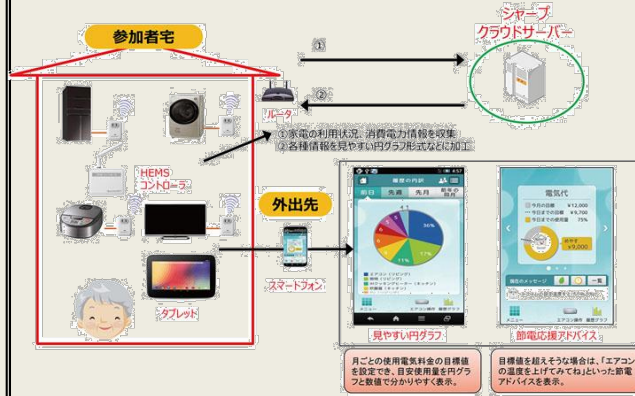


# 神奈川県大井町での実証実験

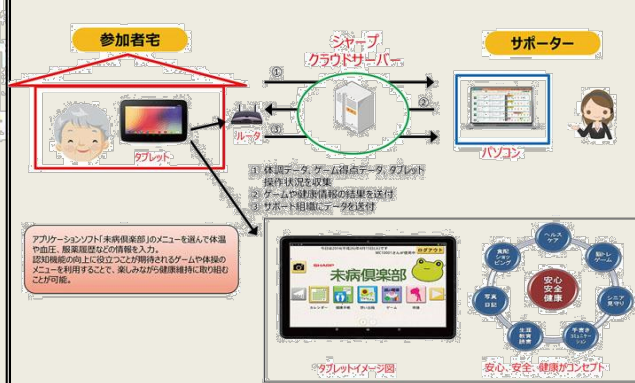
## 2.1 生活支援サービス（高齢者の見守りなど）



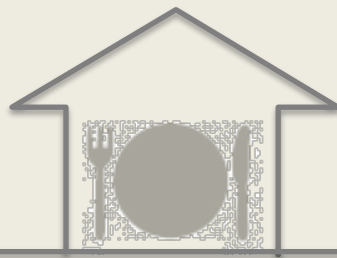
## 1. エネルギー管理サービス



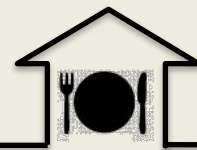
## 2.2 健康管理サービス



報告は以上です。ご清聴ありがとうございました。



「たまプ**楽**食」プロジェクト



# 「たまプ楽食」プロジェクトの紹介

## ■基本情報

- ・コアメンバー : 岸本 泰之、齋藤 嘉裕・洋介
- ・活動(打ち合わせ)場所 : 浜松町(勤務地)  
三越前(イーハンスタジオ)  
たまプラーザ(駅周辺)
- ・主な打合せ時間 : 日曜日・祝日、平日・土曜日夜

## ■協力相手

- ・商店街 → イベント開催拠点として実施について合意。
- ・地域ケアプラザ → イベント開催拠点として。  
他団体とのマッチングの企画へのご協力。
- ・老人会 → イベント告知へのご協力。
- ・3丁目カフェ → 活動拠点、イベント開催拠点として検討。

上記団体のほか、民生委員、AOBA+ART、次世代郊外まちづくりの他団体ともコネクションを持ち、今後の活動の土台を作りました。